

東日本大震災津波からの復興に向けた取組状況

課題1 地域医療の確保																																																																																																													
(1) 医療提供体制の確保																																																																																																													
現在の対応状況										今後の対応方向																																																																																																			
<div>① 被災地医療の確保</div> <div>・平成24年3月26日に仮設診療所の整備完了</div> <div>【仮設診療所整備数】</div> <table><tr><td>医科診療所</td><td>歯科診療所</td><td>合計</td></tr><tr><td>19</td><td>14</td><td>33</td></tr></table>										医科診療所	歯科診療所	合計	19	14	33	<div>・恒久施設への移転等に伴う仮設診療所の廃止(処分)</div>																																																																																													
医科診療所	歯科診療所	合計																																																																																																											
19	14	33																																																																																																											
<div>② 医療施設等の災害復旧支援</div> <div>・国の災害復旧事業や再生基金による診療機能回復事業により、被災した医療機関の施設の修繕や医療機器の再取得等、診療再開を支援</div> <div>【災害復旧支援施設数】 ※括弧内の数値は沿岸地域</div> <table><tr><td>病院</td><td>診療所</td><td>歯科診療所</td><td>看護師養成所</td><td>合計</td></tr><tr><td>20 (5)</td><td>43 (23)</td><td>38 (21)</td><td>2 (0)</td><td>103 (49)</td></tr></table>										病院	診療所	歯科診療所	看護師養成所	合計	20 (5)	43 (23)	38 (21)	2 (0)	103 (49)	<div>(平成25年度までで全て完了)</div>																																																																																									
病院	診療所	歯科診療所	看護師養成所	合計																																																																																																									
20 (5)	43 (23)	38 (21)	2 (0)	103 (49)																																																																																																									
<div>③ 医療施設等の移転・新築支援</div> <div>・被災した医療機関(市町村立含む)の移転新築による診療再開を支援</div> <div>[移転新築予定施設数]</div> <div>医科診療所2施設、歯科診療所3施設(全て沿岸地域)</div> <div>【移転・新築支援対象施設数(復興計画期間)】 ※全て沿岸地域</div> <table><tr><td>病院</td><td>診療所</td><td>歯科診療所</td><td>合計</td></tr><tr><td>0</td><td>16</td><td>27</td><td>43</td></tr></table>										病院	診療所	歯科診療所	合計	0	16	27	43	<div>・平成29年度の整備状況は民間1施設、市町村立1施設(平成29年6月26日に陸前高田国民健康保険広田診療所が移転新築)、県立1施設(平成30年3月1日に県立高田病院が移転新築)</div> <div>・平成30年度の整備状況は民間1施設(平成30年5月1日に歯科医院が移転新築)</div>																																																																																											
病院	診療所	歯科診療所	合計																																																																																																										
0	16	27	43																																																																																																										
<div>④ 県医師会立診療所の支援</div> <div>・地域医療を確保するため、県医師会が陸前高田市に開設した診療所に対して、県は運営費を支援した。</div>										<div>・運営費支援は平成27年度末で完了。</div> <div>・平成29年度をもって解体撤去を全て完了。</div>																																																																																																			
<div>⑤ 薬局の災害復旧支援等</div> <div>・被災地の薬局設置(仮設薬局の設置、薬局の移転設置及び薬局の現地復旧)を支援</div>										<div>(平成25年度までで全て完了)</div>																																																																																																			
<div>⑥ 医療提供施設〔沿岸〕の被災・復旧状況(H30.6.1現在)</div> <div>・沿岸地域の被災施設数、事業継続・再開の状況は次のとおり。なお、災害復旧費補助金、地域医療再生基金を活用した支援のほか、自己資金等による継続・再開等を含み、医療提供施設に係る被災地全体の状況を表したもの。</div>																																																																																																													
<table><tr><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">震災前施設数(a)</th><th rowspan="2">被災施設数(b) (=e+f+g+h)</th><th colspan="3">継続・再開</th><th rowspan="2">再開見込(f)</th><th rowspan="2">廃止(廃止含む)(g)</th><th rowspan="2">未定(h)</th><th colspan="2">継続・再開率(%)</th><th rowspan="2">震災外の廃止施設数(i)</th><th rowspan="2">新規施設数(j)</th><th rowspan="2">震災後施設数(仮設含)(k) (=a-b+e+i+j)</th><th rowspan="2">震災前の施設数に対する割合(仮設含)(k/a)</th></tr><tr><th>自院(e)</th><th>仮設等(d)</th><th>計(a)</th><th>仮設除 c/b*100</th><th>仮設含 e/b*100</th></tr><tr><td>病院</td><td>19</td><td>13</td><td>13</td><td>0</td><td>13</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>0</td><td>0</td><td>19</td><td>100.0</td></tr><tr><td>診療所</td><td>112</td><td>54</td><td>39</td><td>3</td><td>42</td><td>0</td><td>12</td><td>0</td><td>72.2</td><td>77.8</td><td>8</td><td>10</td><td>102</td><td>91.1</td></tr><tr><td>歯科診療所</td><td>109</td><td>60</td><td>47</td><td>2</td><td>49</td><td>0</td><td>11</td><td>0</td><td>78.3</td><td>81.7</td><td>8</td><td>3</td><td>93</td><td>85.3</td></tr><tr><td>薬局</td><td>100</td><td>53</td><td>37</td><td>0</td><td>37</td><td>0</td><td>16</td><td>0</td><td>69.8</td><td>69.8</td><td>19</td><td>32</td><td>97</td><td>97.0</td></tr><tr><td>計</td><td>340</td><td>180</td><td>136</td><td>5</td><td>141</td><td>0</td><td>39</td><td>0</td><td>75.6</td><td>78.3</td><td>35</td><td>45</td><td>311</td><td>91.5</td></tr></table> <div>※「復旧率(再開率)」は、被災医療機関の復旧(継続を含む)率であること。</div>															種別	震災前施設数(a)	被災施設数(b) (=e+f+g+h)	継続・再開			再開見込(f)	廃止(廃止含む)(g)	未定(h)	継続・再開率(%)		震災外の廃止施設数(i)	新規施設数(j)	震災後施設数(仮設含)(k) (=a-b+e+i+j)	震災前の施設数に対する割合(仮設含)(k/a)	自院(e)	仮設等(d)	計(a)	仮設除 c/b*100	仮設含 e/b*100	病院	19	13	13	0	13	0	0	0	100.0	100.0	0	0	19	100.0	診療所	112	54	39	3	42	0	12	0	72.2	77.8	8	10	102	91.1	歯科診療所	109	60	47	2	49	0	11	0	78.3	81.7	8	3	93	85.3	薬局	100	53	37	0	37	0	16	0	69.8	69.8	19	32	97	97.0	計	340	180	136	5	141	0	39	0	75.6	78.3	35	45	311	91.5
種別	震災前施設数(a)	被災施設数(b) (=e+f+g+h)	継続・再開			再開見込(f)	廃止(廃止含む)(g)	未定(h)	継続・再開率(%)		震災外の廃止施設数(i)	新規施設数(j)	震災後施設数(仮設含)(k) (=a-b+e+i+j)	震災前の施設数に対する割合(仮設含)(k/a)																																																																																															
			自院(e)	仮設等(d)	計(a)				仮設除 c/b*100	仮設含 e/b*100																																																																																																			
病院	19	13	13	0	13	0	0	0	100.0	100.0	0	0	19	100.0																																																																																															
診療所	112	54	39	3	42	0	12	0	72.2	77.8	8	10	102	91.1																																																																																															
歯科診療所	109	60	47	2	49	0	11	0	78.3	81.7	8	3	93	85.3																																																																																															
薬局	100	53	37	0	37	0	16	0	69.8	69.8	19	32	97	97.0																																																																																															
計	340	180	136	5	141	0	39	0	75.6	78.3	35	45	311	91.5																																																																																															
(2) 医療従事者の確保・定着																																																																																																													
現在の対応状況										今後の対応方向																																																																																																			
<div>○ 即戦力医師の招聘や奨学金養成医師の配置により、沿岸地域における医師の確保・定着を推進。</div> <div>○ 看護職員の沿岸地域への確保・定着に向け、修学資金貸付制度に被災者枠を設けるとともに、県立宮古高等看護学院の入学定員を増員したほか、県ナースセンターとハローワークが連携した再就業相談や復職支援を実施。</div>										<div>○ 平成31年度以降に臨床研修を開始する養成医師から、所定の義務年限中に少なくとも2年間、沿岸・県北地域の基幹病院等での勤務を必須とするなどにより、更に医師の確保・定着を推進。</div> <div>○ 引き続き沿岸地域における看護職員の確保・定着に向けた取組を実施。</div>																																																																																																			

課題2 地域における高齢者や障がい者等への支援																																																						
(1) 応急仮設住宅地域における介護・福祉サービス拠点の運営支援																																																						
現在の対応状況					今後の対応方向																																																	
<div>高齢者等サポート拠点・グループホーム型仮設施設の運営支援等</div> <div>○ 高齢者等サポート拠点(H30.6月末現在)</div> <div>・計画:9市町村 28か所 ・整備済:9市町村 28か所</div> <div>・運営中:5市町 16か所</div> <div>○ グループホーム型仮設施設(H30.6月末現在)</div> <div>・計画:4市町 12か所 ・整備済:4市町村 12か所</div> <div>・運営中:1町 1か所</div> <div>○ 見守り支援員への研修</div> <div>・研修事業について、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンターと6/20に業務委託契約締結済み。</div>					<div>・ 応急仮設住宅から恒久住宅への移行期では、生活の変化や孤立化による悩み事等への対応が必要となることから、引き続き見守り支援員の資質の維持・向上を図るための研修を実施していく。</div> <div>○ 見守り支援員への研修</div> <div>【平成30年度実施計画】</div> <div>・基礎研修 2回(釜石会場にて8/20、9/6)</div> <div>・分野別研修</div> <div>Ⅰ さまざまな課題を持つ人の理解と支援(釜石会場 11/5)</div> <div>Ⅱ 認知症がある人とのかかわり方 (宮古、釜石、陸前高田の各会場を予定)</div> <div>Ⅲ 支援員のメンタルヘルス(釜石会場を予定)</div>																																																	
(2) 介護予防や介護・障がい福祉サービスの充実等																																																						
現在の対応状況					今後の対応方向																																																	
<div>① 介護予防の推進・生きがいづくり</div> <div>居住環境の変化による高齢者の心身機能の低下を防止するため、次の事業を実施</div> <div>・リハビリテーション活動の支援</div> <div>・地域包括ケアシステムの構築支援</div> <div>・生活不活発病予防や市町村の介護予防に係る取組の支援</div> <div>【介護予防教室等の実施状況 H30.5月末現在】</div> <table><tr><td></td><td colspan="8">実施回数</td></tr><tr><td></td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr><tr><td>介護予防教室</td><td>32</td><td>61</td><td>92</td><td>224</td><td>178</td><td>96</td><td>93</td><td>4</td></tr><tr><td>ふれあい運動教室</td><td>50</td><td>120</td><td>120</td><td>120</td><td>121</td><td>132</td><td>126</td><td>18</td></tr><tr><td>合計</td><td>82</td><td>181</td><td>212</td><td>344</td><td>299</td><td>228</td><td>219</td><td>22</td></tr></table>						実施回数									H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	介護予防教室	32	61	92	224	178	96	93	4	ふれあい運動教室	50	120	120	120	121	132	126	18	合計	82	181	212	344	299	228	219	22	<div>・ 応急仮設住宅及び災害公営住宅における高齢者の孤立化の防止と、それによる生活不活発病や認知症への早期の対応に向けた市町村の取組を継続して支援する。</div> <div>・ 被災者の分散、少数化に対応するため、これまで以上にきめの細かい支援を要することから、被災地で実施される介護予防教室やサロンの取組を継続して支援する。</div> <div>・ 新たな地域コミュニティの形成や被災者相互の見守り体制を強化するため、地域住民が主体的に活動する介護予防等を目的とした自主活動グループの育成に取り組む</div> <div>・ 「被災地地域包括ケア支援事業」、「被災地高齢者ふれあい交流促進事業」、「被災地高齢者リハビリテーション支援事業」の継続実施により引き続き支援する。</div> <div>(ふれあい運動サポーター養成講座の開催)</div> <div>ふれあい運動教室開催地域の市町村からの要望により、6か所で開催予定</div> <div>(ふれあい運動サポーターフォローアップ研修の実施)</div> <div>ふれあい運動教室開催地域において、年2回実施予定</div>				
	実施回数																																																					
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																														
介護予防教室	32	61	92	224	178	96	93	4																																														
ふれあい運動教室	50	120	120	120	121	132	126	18																																														
合計	82	181	212	344	299	228	219	22																																														
<div>② 仮設住宅からの移行期における見守り・支援体制の構築への支援</div> <div>災害公営住宅に入居した高齢者及び障がい者等が、その地域で安心して暮らすことができるよう、研修を通じて各市町村が行う支援体制整備への支援を行う。</div>					<div>・ 住民同士の支え合い支援の方法や、住民主体の支え合いの広げ方について先行事例を用いた研修を実施し、市町村への支援を行う。</div> <div>【平成30年度実施計画】</div> <div>○ 災害公営住宅の住民の支え合い活動と地域の協働(釜石会場を予定)</div>																																																	
<div>③ 介護基盤の整備</div> <div>第7期介護保険事業支援計画等に基づく特養等施設整備の推進(沿岸被災市町村関係)</div> <div>H30.4～6 整備状況</div> <div>・認知症グループホーム 1町 1施設</div> <div>・小規模多機能型居宅介護 2市 3施設</div>					<div>・ 第7期介護保険事業支援計画(H30～32)等により、着実に整備されるよう支援していく。</div> <div>H30整備予定</div> <div>・認知症グループホーム 1市2町 3施設</div> <div>・小規模多機能型居宅介護 2市 2施設</div>																																																	
<div>④ 介護人材の確保</div> <div>被災地において不足している介護職員の確保に向けた取組を実施。</div> <div>・新規人材の確保や潜在有資格者の掘り起し等を行うため、県内4圏域に7人(うち沿岸3人、県北1人)の「キャリア支援員」を市社協等へ配置している。</div> <div>・新規採用職員の住宅確保及び赴任に要する経費に対する補助事業を実施している。(平成30年6月30日現在 補助0名)</div> <div>・被災地サポート拠点に勤務する生活支援相談員等に介護の資格を取得させ、介護分野への就業を促す委託事業を実施している。(平成30年6月30日現在 0人)</div>					<div>・ 今後も引き続き、関係団体等と協議・連携しながら人材の確保・定着に向けた取組を進めていく。</div> <div>・ 介護事業所の労働環境の整備・改善を促進するための介護従事者向けセミナーを実施予定。 (盛岡市8/30、宮古市8/31、11/1盛岡市、11/2釜石市)</div>																																																	

(2) 介護予防や介護・障がい福祉サービスの充実等																																							
現在の対応状況										今後の対応方向																													
<p>⑤ 障がい者福祉サービス</p> <ul style="list-style-type: none">障がい者就労支援振興センターによる支援対象を沿岸12市町村の障がい者就労支援事業所に重点化し、販路拡大、製品開発等の支援を実施。 <p>【H29計画】就労支援事業所等への専門アドバイザー派遣 29回 事業所研修実施 12回</p> <p>【障がい者就労支援振興センターの活動実績(H30.3月末現在)】(単位:回)</p> <table><tr><th>区 分</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>就労支援事業所等への専門アドバイザー派遣</td><td>27</td><td>24</td><td>31</td></tr><tr><td>事業所研修実施</td><td>12</td><td>15</td><td>15</td></tr></table>										区 分	H27	H28	H29	就労支援事業所等への専門アドバイザー派遣	27	24	31	事業所研修実施	12	15	15	<ul style="list-style-type: none">専門アドバイザー派遣や研修の実施による支援を継続して行う。																	
区 分	H27	H28	H29																																				
就労支援事業所等への専門アドバイザー派遣	27	24	31																																				
事業所研修実施	12	15	15																																				
<p>⑥ 被災地発達障がい児支援</p> <ul style="list-style-type: none">発達障がい沿岸センターを通じた障がい児への療育支援及び発達障がい児・者の相談支援、関係機関の助言等を実施。 <p>【発達障がい沿岸センターの活動実績(※H30.6月末現在)】 委託先:(社福)岩手県社会福祉事業団</p> <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="4">件数(延べ)</th></tr><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30(※)</th></tr><tr><td>個別支援(相談支援等)</td><td>593</td><td>763</td><td>498</td><td>124</td></tr><tr><td>関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修(研修の企画、共催等)</td><td>23</td><td>24</td><td>28</td><td>2</td></tr><tr><td>関係施設・関係機関等の連携に係る活動(連絡協議会等)</td><td>156</td><td>163</td><td>175</td><td>41</td></tr></table>										区分	件数(延べ)				H27	H28	H29	H30(※)	個別支援(相談支援等)	593	763	498	124	関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修(研修の企画、共催等)	23	24	28	2	関係施設・関係機関等の連携に係る活動(連絡協議会等)	156	163	175	41	<ul style="list-style-type: none">当面、個別相談に対応しながら、地域で発達障がい児・者への対応が可能となるよう、地域全体での支援体制の充実をめざし、関係機関への支援の重点化を図る。具体的には、地元保健師、学校関係者、幼稚園・保育園職員等を対象とした研修の実施、ケース検討会での助言等の間接支援に一層力を入れる。					
区分	件数(延べ)																																						
	H27	H28	H29	H30(※)																																			
個別支援(相談支援等)	593	763	498	124																																			
関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修(研修の企画、共催等)	23	24	28	2																																			
関係施設・関係機関等の連携に係る活動(連絡協議会等)	156	163	175	41																																			
(3) 社会福祉施設等の復旧、運営支援																																							
現在の対応状況										今後の対応方向																													
<p>被災した施設の修繕、移転整備及び備品等の再取得を支援</p> <p>① 高齢者福祉施設(入居・居住系施設)</p> <ul style="list-style-type: none">廃止した1施設(野田村:GH)を除き、被災施設はH26年度までにすべて復旧、再開した。 <p>【入所施設定員状況(H30.6.1現在)】</p> <table><tr><th>震災前</th><th>現状</th></tr><tr><td>3,769人</td><td>4,558人</td></tr></table>										震災前	現状	3,769人	4,558人	<ul style="list-style-type: none">沿岸被災地においては介護人材不足が特に深刻となっていることから、介護事業者及び事業者団体等と連携して、確保・定着に取り組んでいく。																									
震災前	現状																																						
3,769人	4,558人																																						
<p>② 保育所・児童館等</p> <ul style="list-style-type: none">H27.3.20工事契約 唐丹児童館・唐丹学童育成クラブ(H29.11.20開所)H27.6.19工事契約 高田保育所 (H28.5.6保育開始、H28.6.1から認定こども園として開所)H27.6.25工事契約 津軽石保育所・田老保育所(H28.4.1開所)H27.6.26工事契約 鵜住居児童館・鵜住居学童育成クラブ(H29.3.27開所)H27.6.24工事契約 越喜来保育所 (H28.11.1から認定こども園として開所)H29年度工事着工予定 今泉保育所										<ul style="list-style-type: none">施設の復旧に向け、事業進捗の把握に努めながら、市町村の支援に取り組む。																													
<p>③社会福祉施設〔沿岸〕の被災・復旧状況(H30. 2. 28現在)</p> <ul style="list-style-type: none">沿岸地域の被災施設数、事業継続・再開の状況は次のとおり。なお、災害復旧費補助金、各種基金を活用した支援のほか、自己資金等による継続・再開等を含み、社会福祉施設に係る被災地全体の状況を表したもの。																																							
種別	震災前施設数(a)	被災施設数(b) (=e+f+g+h)	継続・再開			再開見込(f)	廃止(見込含む)(g)	未定(h)	継続・再開率(%)		震災外の休廃止施設数(i)	新規施設(j)	震災後施設数(仮設含)(k) (=a-b+e-itj)	震災前の施設数に対する割合(仮設含)(k/a)																									
			自施設(c)	仮設等(d)	計(e)				仮設除 c/b*100	仮設含 e/b*100																													
高齢者福祉施設	100	34	33	0	33	0	1	0	97.1	97.1	5	55	149	149.0																									
障がい者(児)福祉施設	62	31	31	0	31	0	0	0	100.0	100.0	0	0	62	100.0																									
児童福祉施設	200	59	53	3	56	1	1	1	89.8	94.9	7	0	190	95.0																									
保育所	95	34	33	0	33	1	0	0	97.1	97.1	1	0	93	97.9																									
へき地保育所	1	1	0	0	0	0	1	0	0.0	0.0	0	0	0	0.0																									
児童館	36	4	3	0	3	0	0	1	75.0	75.0	6	0	29	80.6																									
放課後クラブ	62	14	12	2	14	0	0	0	85.7	100.0	0	0	62	100.0																									
子育て拠点	6	6	5	1	6	0	0	0	83.3	100.0	0	0	6	100.0																									
計	362	124	117	3	120	1	2	1	94.4	96.8	12	55	401	110.8																									
※「高齢者福祉施設」は、特養、老健、認知症高齢者GH、小規模多機能及び養護であること。																																							

課題3 被災者の健康の維持・増進

現在の対応状況

今後の対応方向

① 被災地健康支援事業の評価検討

ア 岩手県被災地健康支援事業運営協議会の設置

・被災地健康支援事業運営協議会の開催(H29.9.21開催)

・被災地健康支援事業等情報交換会の開催(H30.3.23開催)

イ 沿岸4圏域における健康支援事業情報交換会

各圏域にて実施。

② 応急仮設住宅入居者等への健康支援

ア 住民の自主的な健康づくり活動の展開

被災者の自主的な健康づくり活動を展開するために、健康に関する学習会や健康調理教室等を実施。

・平成29年度実施市町村 2市町村

・平成30年3月末現在 23回実施(陸前高田市、大槌町)

イ 応急仮設住宅集会所等での健康相談、口腔ケア活動等

応急仮設住宅及び災害公営住宅集会所等において定期的に健康相談や栄養相談、口腔ケア活動等を実施し、要支援者については、個別に健康支援を実施。

【健康相談等の活動状況(H30.6月末現在)】

		実施箇所数								相談者数(人)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
健康相談・健康教室等	応急仮設住宅	1,504	1,552	1,523	1,057	884	704	382	21	5,403	7,976	8,473	5,903	4,404	3,072	1,282	39
	災害公営住宅							200	10							1,239	64
口腔ケア活動	応急仮設住宅	244	237	255	143	197	162	66	0	2,022	2,434	2,371	801	777	509	106	0
	災害公営住宅							18	0							53	0
合計		1,748	1,789	1,778	1,200	1,081	866	666	31	7,425	10,410	10,844	6,704	5,181	3,581	2,680	103

ウ 被災地市町村が実施する健康支援対策への支援

特定健診非対象者への実施及び検査項目の追加実施や、被災者の健康の維持・増進のための健康支援活動、健康支援に係る保健師等の人材確保に係る経費の市町村への補助事業の実施。

・被災者の健康状態の分析及び健康支援対策の検討を継続実施する。

・沿岸4圏域において被災者の健康支援に係る課題・対応策の検討を継続実施する。

・受託者や市町村等と調整しながら住民の自主的な健康づくり活動の支援を継続実施する。

・受託者や市町村等と調整しながら、応急仮設住宅及び災害公営住宅集会所等において健康相談や栄養指導、口腔ケア活動等を継続実施する。

・市町村が実施する健康支援対策への支援を継続して実施する。

課題4 被災者のこころのケアの推進

現在の対応状況

今後の対応方向

① こころのケアセンター

・きめ細かなこころのケアを継続的、長期的に行うための「岩手県こころのケアセンター」を岩手医科大学内に設置するとともに、「地域こころのケアセンター」を沿岸部の合同庁舎内等に設置。

【活動実績(H30.3月末現在)】(※「震災こころの相談室」の件数を含む)

相談延件数	
H24実績	7,444
H25実績	10,201
H26実績	10,747
H27実績	11,613
H28実績	9,041
H29実績	8,338

② 「震災こころの相談室」の設置

・4つの地域こころのケアセンターにおいて、沿岸7市町村に、相談や診察を行う「震災こころの相談室」を開催(週1回)。

【活動実績(H30.3月末現在)】

相談延件数	
H24実績	1,294
H25実績	1,573
H26実績	1,354
H27実績	1,761
H28実績	1,415
H29実績	1,556

○ 今後も被災者を取り巻く環境の変化等に対応したこころのケアが必要となるため、市町村、関係機関からの要請等に応じ、次の活動を実施していく。

・被災者支援(訪問等による相談支援活動)

・支援者支援(支援者のメンタルヘルスケアに対する支援、市町村・保健所事業への参画・協働による支援)

・普及啓発(住民へのこころのケアに関する講演等)

・人材育成(専門職への研修、ゲートキーパー等のメンタルヘルスを理解する者の養成)

○ 市町村、関係機関・団体との情報共有等を進め、連携を強化する。

・沿岸7市町村に設置している「震災こころの相談室」での相談対応を継続する。

課題5 要保護児童等への支援																																																									
現在の対応状況						今後の対応方向																																																			
① 被災孤児・遺児の人数(発災時、県内居住児童数)						・被災孤児・遺児の状況把握を継続実施。																																																			
孤児 遺児 合計 94人 489人 583人																																																									
② 被災孤児・里親支援 ・児童相談所による被災孤児に対する情報提供、里親に対する訪問支援等の実施。 ・県里親会に委託し、被災孤児を養育する里親等を対象に宮古、釜石、気仙の三地区で里親サロンを開催。						・児童相談所による被災孤児に対する情報提供、里親に対する訪問支援等の実施。 ・被災孤児を養育する里親等を対象に宮古、釜石、気仙の三地区で、概ね月1回程度、里親サロン等を実施。																																																			
③ 被災遺児・ひとり親支援 ・広域振興局等へ遺児家庭支援専門員を配置し、市町村と連携しながら相談体制を確保し、訪問・電話で各種制度の利用を促進。						・遺児家庭支援専門員による被災遺児・ひとり親家庭に対する支援を継続実施。																																																			
④ いわての学び希望基金(未就学児童給付事業) ・被災孤児・遺児を対象とした「いわての学び希望基金」の給付金を給付(未就学児5人に支給)。						・対象児童が小学校に入学したことからH29年度で事業終了。																																																			
⑤ 子どものこころのケア ・「いわてこどもケアセンター」を岩手医科大学(矢巾町)に設置するとともに、沿岸三地区を巡回し、専門的なこころのケア(診療)を実施。 (H30.6月末現在) 【診療日(完全予約制)】 ・センター(矢巾町) 月曜日～金曜日 ・巡回診療 宮古地区 毎週木曜日 釜石地区 毎週木曜日 気仙地区 毎週月曜日						・いわてこどもケアセンター等において子どもの心のケアを継続して実施。 ・医療スタッフによる予約待ち患者への受診前相談を実施。																																																			
開設回数 利用児童延数 H25 340回 2,063人 H26 383回 4,013人 H27 361回 4,620人 H28 378回 6,379人 H29 378回 7,663人 H30 96回 1,972人																																																									
⑥ 被災児童に対する遊びの支援 ・東日本大震災いわて子ども支援センター(県社会福祉事業団)に、沿岸地域の児童の健全育成のための遊びの支援等の事業を委託。 ・ 遊びの支援実績(わんぱく広場) 6回 1,837人 (H30.6月末現在)						・東日本大震災いわて子ども支援センターにおいて、被災地の児童への遊びの支援など被災児童支援を継続して実施。																																																			
課題6 被災者の日常生活や災害時要援護者を支える取組の推進																																																									
(1) 応急仮設住宅等における支え合い体制の確立																																																									
現在の対応状況						今後の対応方向																																																			
① 安否・見守り活動の推進 ・県社会福祉協議会及び19市町村社会福祉協議会に生活支援相談員を配置し、応急仮設住宅や災害公営住宅等の被災者に対する見守り・相談支援を実施。 ・災害公営住宅等への移行期を迎え、孤立防止の取組やコミュニティ形成支援、応急仮設住宅に残らざるを得ない方々に対するケアを並行して実施。 【生活支援相談員配置実績(H30.5月末現在)】 <table><tr><td></td><td>計画人員</td><td>配置人員</td></tr><tr><td>生活支援相談員</td><td>186</td><td>143</td></tr></table> 【生活支援相談員活動実績(H29.4～H30.3)】 <table><tr><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>のべ訪問</td><td>16,009</td><td>17,869</td><td>16,413</td><td>17,452</td><td>17,023</td><td>14,366</td><td>17,476</td><td>14,587</td><td>15,189</td><td>14,352</td><td>12,802</td><td>14,054</td></tr><tr><td>相談対応</td><td>4,106</td><td>4,059</td><td>4,193</td><td>4,148</td><td>4,264</td><td>3,932</td><td>4,250</td><td>3,726</td><td>3,900</td><td>3,760</td><td>3,519</td><td>4,060</td></tr></table>							計画人員	配置人員	生活支援相談員	186	143		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	のべ訪問	16,009	17,869	16,413	17,452	17,023	14,366	17,476	14,587	15,189	14,352	12,802	14,054	相談対応	4,106	4,059	4,193	4,148	4,264	3,932	4,250	3,726	3,900	3,760	3,519	4,060	・生活支援相談員による見守り活動や相談支援等を継続(H30:186名分の配置経費を措置)。 ・きめ細かな被災者支援を継続実施するため、優良取組事例の情報提供、養成・実践力強化を目的とした研修会を実施。 ・災害公営住宅移行期対策研修において、災害公営住宅入居者と受け入れ側地域住民との一体的なコミュニティ形成支援について働きかけていく。 ・被災地コミュニティ対策連携チームミーティング(復興局主催)等の場を通じ、庁内関係室課・関係団体等との情報共有・連携を図る。 ・県社協による「被災者実態調査研究」結果などを踏まえ、今後の支援の方向性、生活支援相談員のあり方等を検討。(調査対象:被災者2,270人、回答:1,520人) ・これまでの取組に加え、見守り等のあり方に関する検討や地域づくりワークショップの開催等、地域での支え合い活動の推進に向けた取組を行い、中長期的な見守り等支援体制の充実を図る。						
							計画人員	配置人員																																																	
生活支援相談員	186	143																																																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																													
のべ訪問	16,009	17,869	16,413	17,452	17,023	14,366	17,476	14,587	15,189	14,352	12,802	14,054																																													
相談対応	4,106	4,059	4,193	4,148	4,264	3,932	4,250	3,726	3,900	3,760	3,519	4,060																																													

(2) 災害時における福祉の広域的な支援体制の構築	
現在の対応状況	今後の対応方向
<p>○ 岩手県災害福祉広域支援推進機構及び岩手県災害派遣福祉チームの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体の協力を得てH25年9月に推進機構を設置。 ・H25～29年度の登録研修実施により研修修了者296名をチーム員登録、チーム数49チーム相当の派遣体制を整備。 ・協力施設等(チーム員の所属施設・法人)と協定を締結(95団体)。 ・平成28年熊本地震に対し本県チームを派遣し、熊本県益城町の避難所において要配慮者への支援を実施(4/28～5/21(21日間)、チーム5班延べ24名)。 ・平成28年台風第10号災害に対し本県チームを派遣し、岩泉町の避難所等において要配慮者への支援を実施(8/31、9/1～30、10/3、10/7(33日間)、チーム7班9チーム延べ58名)。 ・チーム員登録研修を開催(6/24～25、修了者30名) ・チーム検討部会を開催し、体制強化について協議(3回) ・県総合防災訓練にて、チーム活動訓練を実施(8/26) ・チーム員スキルアップ研修2を開催(10/26～28、修了者18名) ・チーム員スキルアップ研修1を開催(2/3～4、修了者42名) ・岩手県災害福祉広域支援推進機構会議を開催(2/13) ・災害福祉地域研修会を開催(宮古会場:2/14、参加者32名、盛岡会場:2/19、参加者86名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の要配慮者支援のため、以下の取組を継続し、災害派遣福祉チームの派遣体制整備を図る。 ・チーム員、チーム数の増加やチーム員のスキル向上を図るためチーム員養成研修を実施(登録研修、スキルアップ研修)。 ・市町村、関係団体を対象として、チームの周知や災害時の要配慮者支援対策の充実を図るための「災害福祉地域研修会」を実施。 ・岩手県災害福祉広域支援推進機構会議の開催。 ・熊本地震及び台風第10号災害へのチーム派遣実績を踏まえ、引き続き、チーム派遣体制の充実・強化に取り組む。
(3) 災害ボランティア活動の促進	
現在の対応状況	今後の対応方向
<p>① 個人ボランティアの確保・受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害(復興)ボランティアの確保に向け、現地のボランティアニーズや宿泊先等に関する情報発信、ボランティアの受入調整等を実施(平成30年3月末までに、県内ボランティアセンターにおいて延べ約55万6千人以上のボランティアを受入調整)。 <hr/> <p>② 「岩手県防災ボランティア活動推進指針」の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災津波等の成果・課題を踏まえ、今後の災害に備えた取組の方向性を示し、関係機関・団体が認識を共有して、官民協働で活発かつ効率的な防災ボランティア活動が展開されるようH26年3月に指針を策定。 ・「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」連絡会議を開催し、台風第10号災害への対応への振返り等を実施(H29.11.9)。 ・連絡会議の取組として、防災ボランティア活動に係る活動拠点や関係機関での資機材配備状況等について調査を実施(H30.3)。 <p>・県域、市町村域で顔の見える連携体制の構築を推進していくにあたり、互いの活動の理解を促進することを目的として研修会を開催(H30.3.20)。</p> <p>・台風第10号災害に際し、岩手県防災ボランティアネットワーク連絡会議のメンバーが中心となって、被災地の災害ボランティアセンターの支援に係る役割分担を協議する等、同ネットワークが自律的に活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」連絡会議を開催し、引き続き関係機関・団体の連携を図る。 ・上記連絡会議が主催する研修会の開催により、防災ボランティア・支援団体の受入体制構築を図る。 ・防災ボランティア活動に係る活動拠点や関係機関での資機材配備状況等の調査結果を関係機関等に情報提供。 ・台風第10号災害でのボランティア活動の状況を踏まえ、発災時の円滑な活動が図られるよう「岩手県防災ボランティア活動推進指針」の改定を行う。